

No.	報告受領日	一般名	患者 性別 年代	原疾患	感染症名	投与年月	投与前検査 (年月)	投与後検査 (年月)	企業投与前 検査	企業投与後 検査	受血者個別 NAT	献血者個別 NAT	備考
82	2007/12/4	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結人血漿-LR	女 80	消化器疾患	細菌感染	07/11 07/11	-	36℃→38.6℃ 院内にて実施 の患者血培養 は陰性	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。 抗白血球抗体検査実施:クラスI 陽性、クラスII陽性 人赤血球濃厚液(放射線照射)- LR(2本):使用済みバッグによる 細菌培養試験を実施。試験結 果:全て陰性 新鮮凍結人血漿-LR(1本):投与 中止の当該製剤で細菌培養試 験を実施。試験結果:陰性				
83	2007/12/4 2007/12/11	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR	女 30	産科(出血)	B型肝炎	07/06 07/06	HBV-DNA(-) HBsAg(+) IgG-HBcAb(-) IgM-HBcAb(-) (07/06)	HBV-DNA(+) (07/10) HBsAg(+) HBsAb(-) IgG-HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) HBsAg(+) HBsAb(-) (07/11)	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) IgM-HBcAb(-) (07/11)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	保管検体11本 中、10本HBV- DNA(-)、1本 HBV-DNA(+) 。	ウイルスの解析:患者献体と献血者 (HBV陽性保管検体)とでPreS/S領 域を含むP領域の前半部の1550bpの 塩基配列を比較したところ、両者の 塩基配列は全て一致した。献血者と 患者のHBVウイルスはGenotype Cで 塩基配列からSubtypeはadrと推定し た。	
84	2007/12/4	人赤血球濃厚液(放射線照射)-LR 新鮮凍結人血漿	女 20	生殖器疾患	B型肝炎	07/05 07/05	HBsAg(-) (07/05)	HBsAg(-) (07/07) HBsAg(+) (07/11) HBV-DNA(+) (07/11)	-	HBV-DNA(+) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (07/11)	陽性(輸血 後)	保管検体6本全 部HBV-DNA(-)	
85	2007/12/12	人血小板濃厚液	男 40	血液疾患	細菌感染	07/11	Pantoea agglomerans同 定	38.4℃ 悪寒 院内にて実施 の患者血培養 は陰性 (輸血当日) 院内にて患者 血液培養実 施。 Staphylococcus haemolyticus を同定 (輸血翌々日)	非溶血性副作用関連検査実 施。抗血漿タンパク質抗体検査: 陰性。血漿タンパク質欠損検査: 欠損なし。 当該製剤のセグメントチューブに よる細菌培養試験を実施。試験 結果:陰性				
86	2007/12/12	人赤血球濃厚液	女 70	血液腫瘍	B型肝炎	01/09- 03/01	HBsAg(-) (01/09)	HBsAg(-) (01/11) HBsAg(-) (02/09) HBsAg(-) (03/09-07) HBsAg(+) (03/08) HBV-DNA(+) (03/08) HBsAg(+) (08/11) HBsAg(+) (07/11)	HBV-DNA(+) (07/11) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (07/12)	陽性(輸血 後)	保管検体23本に ついて全部 HBV-DNA(-)		